

平成8年～ 御荘病院の構造変革における

（長野構成員提出資料）

移行過程でマネージメントしてきた課題

病院機能（医療のあり方）の見直し

⇒長期目標（地域一体型病院）の策定に加え
10年後計画の作成 と 具体的移行策の明示

すべての課題に対して
バランスよく取り組むことが必須。
どれを欠いても構造変革は進まない！

職員（地域の精神保健医療福祉資源）の再配置

職員の再研修、モチベーション

（強みを大切にしつつ、地域でのスキル獲得へ）

支出

給食、事務などの経費管理

収入

病床数

「減る」と「減す」のバランス

借入金

外来・訪問・デイケア
などの経営管理

財源・資金

ハード

病院建物のリフォーム
地域の空き建物の活用 等

地域で支える医療への転換

・入院回避できる医療支援へ

社会的・長期入院者の退院促進

高齢者 → 社会的入院 → やや重度の精神疾患の方

行政-医療計画

行政-保健所

医師会

行政-町村

新規資源の起業・運営

地域で暮らすための生活支援

住居、生活支援、就労、相談支援 等

精神障がい者が暮らしているのが当たり前地域・社会づくり

（本人、家族、地域住民、行政、医療保健福祉関係者...）